

資料9 現状の課題点リスト

□現施設の課題点整理（主な項目）

プール周辺（外構）	
1	市道17号線から敷地内への車両進入路の幅員が狭くクランクしており、大会・イベント時の大型車両や、緊急車両の通行の障害となっている。また、大型車両やバスの駐車スペースも不足している。
2	市道17号線は歩道幅員が狭く、バス停も設置されており、市民の安全な通行に支障をきたしている。また、景観整備優先路としても位置付けられていることから、快適で安全な歩行空間創出のため現状よりセットバックする必要がある。
管理棟（1982年竣工：築42年）	
1	管理棟は当時の屋外プール用に建設され、その後通年利用を行う屋内温水プール増築後も管理棟として継続利用されているため、利用者動線やバリアフリーに関する課題が多い。
2	エレベータ設備がないため、2階更衣室や見学者席へは階段を利用する必要がある。
3	プール利用の着衣者と泳者の動線が交錯しており、ウェットエリアとドライエリアの明快な区分ができていない。
4	衛生設備、空調・換気設備の老朽化による衛生環境が悪く、快適性に欠ける。
屋内プール（1989年竣工：築35年）	
1	プール床材（タイル）の劣化に伴い、ゴム系床材へ改修しながら運用している状況である。
2	屋内に、近年の施設では整備されることが多い幼児用プールやジャグジー施設がない。
3	外壁部のスライディングパネル（移動壁）、天井の可動トップライトが劣化のため、一部開閉ができない。
屋外プール（1940年頃竣工：築約80年）	
1	プールサイド床材の劣化が激しく、安全上好ましくない。
2	水深が深く（約1.7m）、子供の遊泳のためプールフロアー（水深調整台）を使用して運用している状況である。
3	プールサイドに休憩時の日除けがなく、夏季の炎天下の利用に支障がある。